

標葉郷野馬追祭

5/25
(土)

騎馬口上 (侍言葉による祝い口上)

午前8時5分 中央公園にて

出陣式式典

午前8時15分 中央公園にて

礼螺

午前8時15分 中央公園にて

出陣

午前8時30分 中央公園より町内一巡

5/26
(日)

標葉郷騎馬(凱旋)行列

午後4時～4時45分 町内一巡

浪江町相馬流れ山踊り保存会

舞踊「相馬流れ山」

午後4時15分 中央公園にて

凱旋式典

午後4時50分 中央公園にて

標葉郷神旗争奪戦

午後5時～5時30分 中央公園にて



特別協賛

■ 安藤ハザマ・岩田地崎・不動テトラ・浅沼JV 浪江拠点出張所

主催 標葉郷野馬追運営委員会

共催 浪大 江熊 町 双葉町 浪江町商工会

令和6年度 標葉郷騎馬行列順序

一	御先乗	中川 巧一	双葉
二	御先乗	阿部 兼太	浪江
三	軍者	横山 秀明	浪江
四	御使番	相浦 光輔	浪江
五	組頭	木村 奈々美	浪江
六	中頭	小野田 淳	大熊
郷配団扇旗			
七	軍配団扇守護	相沢 寛人	浪江
八	軍配団扇守護	木幡 智和	浪江
九	郷大將	吉田 栄光	浪江
十	郷大將付軍者	山本 幸一郎	浪江
十一	郷大將付組頭	豊田 正	浪江
十二	郷大將付中頭	光居 洋行	浪江
十三	副執行委員長	笠井 淳一	浪江
十四	副執行委員長	館下 明夫	双葉
十五	副執行委員長	島 和広	大熊
十六	副執行委員長補佐	蒲原 文崇	浪江
十七	旗奉行	成井 祥	浪江
十八	功者	本林 耕作	浪江
十九	功者	林 茂	浪江
二十	功者	武内 勝芳	浪江
二十一	武装取締役	中川 準	双葉
二十二	螺役	渡部 達也	大熊
二十三	螺役	山本 幸輝	浪江
二十四	螺役	稲本 幸平	浪江
二十五	螺役	吉田 茂	浪江
二十六	螺役	稲本 幸弘	浪江
二十七	螺役	深野 真広	浪江
二十八	副軍師	林 富士雄	浪江
二十九	副軍師付組頭	吉田 賢人	浪江
三十	副軍師付中頭	佐藤 改	浪江
三十一	副軍師付御使番	戸川 大輔	浪江
三十二	侍大將	中川 健治	双葉
三十三	侍大將付組頭	吉田 昌平	大熊
三十四	侍大將付中頭	鈴木 智和	浪江
三十五	侍大將付御使番	林 優太朗	浪江
三十六	御神輿守護	小野田 政昭	大熊
三十七	勘定奉行	鈴木 清彦	大熊
三十八	勘定奉行	矢口 龍彦	浪江
三十九	軍者	平本 佳司	浪江
四十	組頭	高橋 暢	浪江
四十一	御使番	今野 愛菜	浪江
四十二	馬隊	中川 心菜	双葉
四十三	馬隊	船迫 美葵	大熊
四十四	馬隊	山本 星空	双葉
四十五	馬隊	杉浦 由悟	大熊
四十六	馬隊	田中 健人	浪江
四十七	馬隊	小林 凌	双葉
四十八	馬隊	鈴木 太陽	大熊
四十九	馬隊	平子 和	大熊
五十	馬隊	根本 想司	浪江
五十一	馬隊	中川 陽葵	双葉
五十二	馬隊	中川 元之将	双葉
五十三	騎馬隊	稲本 陸斗	浪江
五十四	御使番	坂 卓磨	浪江
五十五	中頭	根本 研司	浪江
五十六	組頭	吉田 学人	浪江
五十七	軍者	阿部 雅彦	浪江

14	勘定奉行 (かんじょうびぎょう)	会計を司る役。
13	御神輿守護役 (ごしんよしゅごやく)	御神輿を守護する役。
12	侍大將 (さむらいだいしやう)	組頭以下を統率する、九曜紋の指旗を使用する。
11	副軍師 (ふくぐんし)	総大將を補佐し指揮を執り行う最高責任者。
10	螺役 (かいはく)	野馬追の様々な合図の法螺貝を吹く。
9	功労者	永年野馬追に出場し、振興・保存に功績のあった武者。
8	副執行委員長	相双地方の首長で野馬追を執り行う。
7	郷大將 (ごうだいしやう)	標葉郷を統率する。
6	団扇 (うちわ)	繋駒を描いた団扇は、妙見信仰にとって重要であり、藩主と領民の安全を祈願し奉納される。
5	中頭 (なかがしら)	組頭の補佐役。
4	組頭 (くみがしら)	上司の命を受け、組をまとめる役。
3	御使番 (おつかいばん)	上司の命を受け、行列の前後を走り回る伝令の役。
2	軍者 (ぐんじゃ)	軍師、副軍師を補佐しながら、隊を統率する任に当る。
1	御先乗 (おさきのり)	昔は露払いといって、藩主の行先を検分する役であつたが、今日では行列の歩度を調節する役。

標葉郷騎馬行列 順序と役目